

2020年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年1月31日

上場会社名 株式会社ユタカ技研 上場取引所 東
 コード番号 7229 URL <https://www.yutakagiken.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒川 勝弘
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 清水 克訓 (TEL) 053-433-4111
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	130,288	△4.8	4,182	△40.8	4,137	△44.8	1,433	△65.0	1,103	△63.9	713	△77.6
2019年3月期第3四半期	136,908	2.3	7,065	△16.9	7,490	△15.5	4,094	△32.5	3,057	△32.3	3,187	△58.5
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2020年3月期第3四半期	74.47		—									
2019年3月期第3四半期	206.26		—									

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり 親会社所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	152,418	87,466	77,236	50.7	5,212.23
2019年3月期	153,873	88,027	77,852	50.6	5,253.74

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	36.00	—	36.00	72.00
2020年3月期	—	36.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	36.00	72.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	173,000	△4.6	6,200	△27.9	5,900	△34.5	2,900	△46.8	2,200	△52.8	148.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注) 詳細は9ページ「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年3月期3Q	14,820,000株	2019年3月期	14,820,000株
2020年3月期3Q	1,747株	2019年3月期	1,694株
2020年3月期3Q	14,818,299株	2019年3月期3Q	14,818,387株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	6
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、国内では輸出入の低迷を背景に、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動や台風による甚大災害の影響により個人消費が足踏み傾向となっており、自動車販売においても減少基調が続いております。海外では、米国において個人消費が堅調さを維持しておりますが、設備投資と輸出が低迷しており、自動車販売も減少基調が続いております。また、新興国においても中国・インドを中心に経済成長の減速が続いており、総じて先行き不透明感が続いております。

この様な環境の中、当社グループは、北米の効率改善効果があったものの、日本及び中国における顧客からの受注減影響及び競合による利益低下や経費負担増、英国で労使協議が合意したことにより、解雇給付に伴うリストラチャリング費用13億5千7百万円の計上があり、当第3四半期連結累計期間の売上収益は、1,302億8千8百万円(前年同期比4.8%減)、営業利益41億8千2百万円(前年同期比40.8%減)、税引前四半期利益41億3千7百万円(前年同期比44.8%減)、四半期利益14億3千3百万円(前年同期比65.0%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益11億3百万円(前年同期比63.9%減)となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

(日本)

顧客からの受注減による減収影響や売上構成差、償却費負担増に加え、生産基盤の再編に伴う費用発生があり、売上収益323億1千4百万円(前年同期比6.4%減)、営業損失10億1百万円(前年同期は営業利益4億4千6百万円)となりました。

(北米)

米国での顧客からの受注減があったものの、効率改善効果があり、売上収益374億9千2百万円(前年同期比11.0%減)、営業損失1億4千万円(前年同期は営業損失13億8千1百万円)となりました。

(アジア)

インドネシアにおいて顧客からの受注増による増収効果があったものの、タイ、インドにおいて顧客からの受注減による減収影響があり、売上収益228億8百万円(前年同期比8.5%減)、営業利益20億7百万円(前年同期比9.7%減)となりました。

(中国)

構成部品の価格変動に伴う増収はあったものの、顧客からの受注減影響や売上構成差に加え、競合による利益低下や経費負担増により、売上収益508億2千7百万円(前年同期比3.6%増)、営業利益41億8千7百万円(前年同期比26.4%減)となりました。

(その他)

前連結会計年度末での固定資産減損損失計上に伴う償却費負担の減少があったものの、顧客からの受注減による減収影響や、英国で労使協議が合意したことにより、解雇給付に伴うリストラチャリング費用の計上があり、売上収益は47億3千3百万円(前年同期比20.7%減)、営業損失10億1千1百万円(前年同期は営業利益1億1千5百万円)となりました。

(注) 上記に記載しているセグメント別の売上収益は、外部顧客への売上収益とセグメント間の内部売上収益の合計であります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、主に有形固定資産の増加があったものの、現金及び現金同等物の減少や営業債権及びその他の債権の減少により、前連結会計年度末に比べ14億5千5百万円減少し、1,524億1千8百万円となりました。

負債につきましては、引当金が増加したものの、借入金の減少や営業債務及びその他の債務が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ8億9千4百万円減少し、649億5千2百万円となりました。

資本につきましては、その他の資本の構成要素が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ5億6千2百万円減少し、874億6千6百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は251億2千8百万円(前年同期比9.0%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は116億3百万円(前年同期比5.3%減)となりました。これは主に法人所得税等の支払額による支出があったものの、税引前四半期利益や減価償却費及び償却費、営業債務及びその他の債務の増加、引当金の増加による収入が上回ったものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は82億1千8百万円(前年同期比90.0%増)となりました。これは主に新機種投資に伴う有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は39億8千7百万円(前年同期比58.5%減)となりました。これは主に借入金の純減額や配当金の支出額等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

北米の効率改善効果が見込まれるものの、全ての地域において顧客からの受注減の影響が予測され、また競合による利益低下や経費負担増、英国で労使協議が合意したことにより、解雇給付に伴うリストラクチャリング費用の計上があり、前回予想値を下回る見込みであります。

この様な状況を踏まえ2019年4月25日に公表いたしました通期業績予想を、以下のとおり修正いたします。

(単位：百万円)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益
前回発表予想 (A) 2019年4月25日公表	181,000	7,500	7,400	4,100	3,000
今回修正予想 (B)	173,000	6,200	5,900	2,900	2,200
増減額 (B-A)	△8,000	△1,300	△1,500	△1,200	△800
増減率 (%)	△4.4	△17.3	△20.3	△29.3	△26.7
前期実績	181,264	8,599	9,010	5,452	4,662

なお、第4四半期連結会計期間の為替想定レートは1米ドル108円としております。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (2019年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	27,486	26,220
営業債権及びその他の債権	40,975	39,520
棚卸資産	21,417	20,683
その他の流動資産	1,283	1,482
流動資産合計	91,160	87,906
非流動資産		
有形固定資産	57,289	58,841
無形資産	1,073	988
退職給付に係る資産	705	705
繰延税金資産	2,504	2,732
その他の非流動資産	1,142	1,246
非流動資産合計	62,713	64,512
資産合計	153,873	152,418
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	45,515	45,203
借入金	9,723	8,687
未払法人所得税等	826	838
その他の流動負債	3,321	2,548
流動負債合計	59,385	57,276
非流動負債		
借入金	2,288	1,698
退職給付に係る負債	2,869	2,807
引当金	—	1,391
繰延税金負債	415	450
その他の非流動負債	889	1,330
非流動負債合計	6,461	7,676
負債合計	65,846	64,952
資本		
資本金	1,754	1,754
資本剰余金	8	8
利益剰余金	76,479	76,515
自己株式	△3	△3
その他の資本の構成要素	△387	△1,039
親会社の所有者に帰属する持分合計	77,852	77,236
非支配持分	10,176	10,230
資本合計	88,027	87,466
負債及び資本合計	153,873	152,418

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上収益	136,908	130,288
売上原価	117,379	113,330
売上総利益	19,529	16,958
販売費及び一般管理費	12,541	12,945
その他の収益	378	276
その他の費用	301	106
営業利益	7,065	4,182
金融収益	624	257
金融費用	199	302
税引前四半期利益	7,490	4,137
法人所得税費用	3,395	2,704
四半期利益	4,094	1,433
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の純変動	△5	1
純損益に振替えられることのない項目合計	△5	1
純損益に振替えられることのある項目		
在外営業活動体の換算差額	△902	△721
純損益に振替えられることのある項目合計	△902	△721
その他の包括利益(税引後)合計	△907	△720
四半期包括利益	3,187	713
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	3,057	1,103
非支配持分	1,038	329
四半期利益	4,094	1,433
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,349	452
非支配持分	838	261
四半期包括利益	3,187	713
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益(円)	206.26	74.47

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

区分	親会社の所有者に帰属する持分					その他の 資本の 構成要素 その他の包括利益 を通じて公正価値 で測定する金融 資産の純変動
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		
2018年4月1日残高	1,754	8	72,990	△2	14	
四半期利益			3,057			
その他の包括利益					△2	
四半期包括利益	—	—	3,057	—	△2	
自己株式の取得及び売却				△0		
配当金			△993			
所有者との取引等合計	—	—	△993	△0	—	
2018年12月31日残高	1,754	8	75,054	△2	11	

区分	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		親会社の所有者 に帰属する 持分合計		
	在外営業 活動体の 換算差額	その他の 資本の構成 要素合計			
2018年4月1日残高	△270	△256	74,494	10,662	85,156
四半期利益		—	3,057	1,038	4,094
その他の包括利益	△705	△707	△707	△200	△907
四半期包括利益	△705	△707	2,349	838	3,187
自己株式の取得及び売却		—	△0		△0
配当金		—	△993	△279	△1,272
所有者との取引等合計	—	—	△993	△279	△1,272
2018年12月31日残高	△975	△963	75,851	11,221	87,071

(単位：百万円)

区分	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素 その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2019年4月1日残高	1,754	8	76,479	△3	11
四半期利益			1,103		0
その他の包括利益					0
四半期包括利益	—	—	1,103	—	0
自己株式の取得及び売却				△0	
配当金			△1,067		
所有者との取引等合計	—	—	△1,067	△0	—
2019年12月31日残高	1,754	8	76,515	△3	11

区分	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計		
	在外営業活動体の換算差額	その他の資本の構成要素合計			
2019年4月1日残高	△397	△387	77,852	10,176	88,027
四半期利益		—	1,103	329	1,433
その他の包括利益	△652	△652	△652	△68	△720
四半期包括利益	△652	△652	452	261	713
自己株式の取得及び売却		—	△0		△0
配当金		—	△1,067	△207	△1,274
所有者との取引等合計	—	—	△1,067	△207	△1,274
2019年12月31日残高	△1,050	△1,039	77,236	10,230	87,466

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	7,490	4,137
減価償却費及び償却費	6,324	6,157
金融収益及び金融費用(△は益)	△40	△43
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△671	964
棚卸資産の増減額(△は増加)	4,216	428
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△949	2,517
引当金の増減額(△は減少)	—	1,357
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△52	△68
その他	△60	△1,055
小計	16,258	14,394
利息の受取額	239	257
配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△199	△213
法人所得税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△4,050	△2,836
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,249	11,603
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	829	177
有形固定資産の取得による支出	△5,111	△8,699
有形固定資産の売却による収入	172	437
無形資産の取得による支出	△222	△135
貸付金の回収による収入	6	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,325	△8,218
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△5,905	△651
リース債務の返済による支出	△283	△436
長期借入金の返済による支出	△1,051	△776
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支出額	△990	△1,065
非支配持分への配当金の支出額	△1,387	△1,059
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,617	△3,987
現金及び現金同等物に係る換算差額	△502	△494
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,195	△1,096
現金及び現金同等物の期首残高	25,246	26,224
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,051	25,128

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループでは、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」(2016年1月公表)(以下、「IFRS第16号」)を適用しております。この基準の適用に伴い、適用開始日に使用権資産及びリース負債を認識しております。

使用権資産は、リース負債の当初測定額に前払リース料等を調整した額で当初の測定を行っております。リース負債は、残存リース料を適用開始日における借手の追加借入利率を用いて割り引いた現在価値で測定しております。

適用開始日において、要約四半期連結財政状態計算書に認識した使用権資産等のリース関連の資産は778百万円、リース負債は768百万円であります。

リース負債を認識する際に、リース負債と同額(ただし、前払リース料等は修正)の使用権資産を認識しているため、期首利益剰余金への影響はありません。

なお、当社グループはIFRS第16号の適用に際し、以下の実務上の便法を使用しております。

- ・特性が合理的に類似したリースのポートフォリオに単一の割引率を適用しております。
- ・適用開始日から12ヶ月以内にリース期間が終了するリースについて、短期リースと同じ方法で会計処理を行っております。
- ・当初直接コストを適用開始日現在の使用権資産の測定から除外しております。

また、当社グループの営業利益及び四半期利益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、各々の現地法人においてそれぞれ独立した経営単位であり、取締役会及び取締役会から選定された取締役によって構成される経営会議において、経営の重要事項について審議し、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社では、地域毎に取締役本部長・担当取締役等が任命されており、担当地域の包括的な戦略の立案を統括し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売を基礎とした地域別のセグメントから構成されております。

各報告セグメントの主な地域は、以下のとおりです。

報告セグメント		主要な製品及びサービス
日本	日本	自動車部品四輪(排気系部品、駆動系部品、その他) 自動車部品二輪 汎用部品 その他
北米	米国 メキシコ	自動車部品四輪(排気系部品、駆動系部品、その他) 自動車部品二輪
アジア	フィリピン インドネシア タイ インド	自動車部品四輪(排気系部品、駆動系部品) 自動車部品二輪
中国	中国	自動車部品四輪(排気系部品、駆動系部品)
その他	英国 ブラジル	自動車部品四輪(排気系部品、駆動系部品、その他)

2. 報告セグメントごとの売上収益及び利益又は損失の金額に関する情報

当社グループの前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間の報告セグメント情報は以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額	要約四半期 連結財務諸 表計上額
	日本	北米	アジア	中国	その他	合計		
外部顧客への売上収益	21,052	41,401	22,587	45,908	5,959	136,908	—	136,908
セグメント間の内部 売上収益	13,486	704	2,345	3,156	12	19,703	△19,703	—
計	34,538	42,105	24,932	49,064	5,971	156,610	△19,703	136,908
営業利益又は損失(△)	446	△1,381	2,223	5,688	115	7,090	△25	7,065
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	624
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	199
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	7,490

- (注) 1 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。
 2 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。
 3 営業利益又は損失(△)の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額	要約四半期 連結財務諸 表計上額
	日本	北米	アジア	中国	その他	合計		
外部顧客への売上収益	19,166	37,186	21,073	48,601	4,262	130,288	—	130,288
セグメント間の内部 売上収益	13,149	306	1,735	2,226	471	17,887	△17,887	—
計	32,314	37,492	22,808	50,827	4,733	148,175	△17,887	130,288
営業利益又は損失(△)	△1,001	△140	2,007	4,187	△1,011	4,041	141	4,182
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	257
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	302
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	4,137

- (注) 1 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。
 2 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。
 3 営業利益又は損失(△)の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。